



日本國土計畫論

昭和十六年四月二十八日 印刷
昭和十六年五月三日 發行

定價三圓六十錢

| | | | | |
|--|-----------------------|----------------------|-------------------------------|------|
| 發行所 | 製本所 | 印刷者 | 發行者 | 著者 |
| 東京市神田區小川町三ノ五 志村ビル 電話神田(25)四一八〇番 振替東京一〇五九六五番 | 東京市神田區錦町三ノ一一 星野製本所 | 東京市牛込區南山伏町一 野吾由次郎 | 東京市神田區小川町三ノ五 志村ビル 平野伊太郎 | 石川榮耀 |
| 八元社 | | | | |

!! 來 出 版 重 ! 評 好

企畫院調査官 美濃口時次郎著

人的資源論

菊版箱入 三二〇頁
定價三・二〇 千・一八

高度國防國家建設の條件として、資源獲得・軍備擴充・技術の高度化・人的資源の健全なる發展は、我國當面の課題として益々その重大さを要求しつつある。今次事變勃發以來極度に低下しつつある我國人的資源の諸要因は奈邊にある？ 凡そ歴史を省みても民族の盛衰は、一つに人的資源の消長にかゝつて居り、資源開發も、軍備も技術の高度化も人的資源の發展を俟つて始めて可能なのである。本書は斯る國家的急務に應へて、既に權威として知られる著者が、山積せる資料と實査と、一年餘月を費して展開せる理論である。

滿鐵調査室 森 喜 一 著

再編成過程の日本中小産業

菊版箱入 二五〇頁
定價二・三〇 千・一四

重工業への轉換過程下に於いて、中小産業の危機はそれ自體當然の趨勢でありながら、尙且存立の根を斷ち得ない、そこに日本中小産業の特殊性がある。膨大な生産者層と、半封建的諸條件に培はれて來た現情への對策も、その本質を極める事なくして解決し得ない。本書の特徴は、實査に據る正確なる統計を基礎に、轉失業問題を生起しつつある日本中小産業の本質を分析し、尙將來への方向を指示してゐる。